

ブラジル・ウィークリー

2018年8月20日発行号
作成：日興アセットマネジメント



先週の ブラジル株式市場 の動き (8月13日～8月17日)

ブラジル株式市場は、ボブスパ指数で前週末比▲0.6%となり、週間ベースで2週連続の下落となりました。13日(月)は、トルコにおける金融市場の混乱が他の新興市場に波及する中、下落してはじまったものの、レアル安を背景に鉱工業、紙・パルプ業などを中心に徐々に買いが優勢となり、上昇しました。14日(火)は、トルコを巡る懸念が一旦後退し、米国株式などが反発した流れを引き継いで、続伸しました。15日(水)は、中国のインターネットサービス大手の決算が市場予想を下回ったことを材料に、アジアや欧州の株式が下落したことや、18年4-6月期のブラジルの経済活動指数が前期比で低下したことなどから、ボブスパ指数は前日比▲1.9%と週の中で最も大きく下落しました。16日(木)は、市場からの人気が高い大統領候補のアルキミン氏が、サンパウロ州知事時代に関わったとされる不正行為について、検察当局が起訴する可能性があることと報じられたことなどが嫌気され、続落しました。17日(金)は、素材セクターは買われたものの、ほぼすべてのセクターが売られ、下落しました。

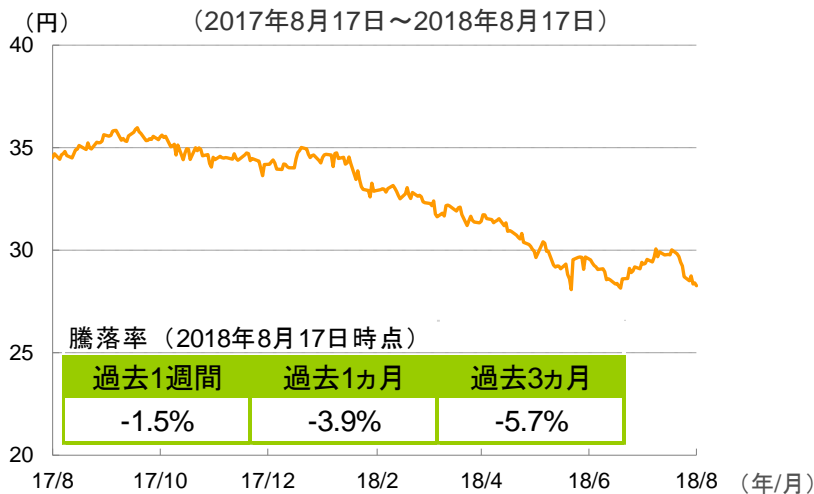
ボブスパ指数の推移

(2017年8月17日～2018年8月17日)



レアル(対円)の推移

(2017年8月17日～2018年8月17日)



8月17日時点(過去1週間=8月10日、過去1ヵ月=7月17日、過去3ヵ月=5月17日との比較)、なお、休場の場合は、直前の営業日のデータを使用

※上記グラフ・データは過去のものであり、将来の市場環境などを保証するものではありません。(信頼できると判断したデータをもとに日興アセットマネジメントが作成)

■当資料は、日興アセットマネジメントがブラジル株式市場などについてお伝えすることを目的として作成した資料であり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、当資料に掲載する内容は、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。■投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産は為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。